

2018年度 活動計画案

自 2018年4月01日 至 2019年3月31日

技術分野をまたぐ、つなぐ ～継続

Cross and Bridge Technical Disciplines - continued

今年度も昨年度のスローガン「技術分野をまたぐ、つなぐ」を継続し、本協会におけるこれまでの活動実績や刷新したウェブサイトの活用等も踏まえた次の諸活動を展開していく。

● 会内情報資産を活用した対外発信の推進

当協会には過去の活動を通じて、セミナー資料、マガジン記事、PE 受験・登録体験談、NSPE 総会資料、ウェブマスタに到来する各種問合せへの対応記録 などの情報資産が蓄積されている。これらを分析、活用した会員交流と対外発信の推進を図る。

● CPD セミナーを通じた会員交流の継続

月一回程度の CPD セミナー開催を継続し、会員の能力向上機会提供とともに、会員交流を継続する。

● 活動メニューの整理

当会はここ数年の間に様々な新規活動展開を行った結果、行事開催では技術セミナー、鬼金セミナー、JSPE Day、エンジニアズサロン、PE/FE受験・登録相談会、国内試験支援等の約6種類、調査・広報活動では、ウェブサイト運営、季刊マガジン発行、年次事業報告書発行、PMBOK・エシックス事例研究、PEハンドブック発行、シラバス評価支援活動、メンタリング制度、NSPE総会参加、JABEE国際委員会参加等の約9種類と、活動メニュー（ポートフォリオ）が発散している傾向もある。一方、現預金資産は年間予算の1.5倍程度まで積み上がり、将来にわたって当協会が持続的に活動できるようにするため、どのような基盤整備投資を行うべきかの判断も必要となっている。このため、役員に加えて運営サポートに参画する会員等も交えて集中討議などの機会を設けて、会の持続的な活動方針等を策定する。

また、事務所については永らく日本 PE・FE 試験協議会（JPEC）と同居での利用となっているが、当会宛郵便物の受取りや日本試験受験者情報の保護などでJPEC側に負担をかけることとなっている。事務所で開催としてきたエンジニアズサロンの参加者数も増え、外部会議室の利用が増えてきていることもあり、今年度はこれら課題を解決すべく都内シェアオフィスへの移転を検討する。